

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 2月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年 2月1日発行 通巻286号

県連50周年記念事業を

成功させよう

2月号目次

・ 目 次	2
・ 1月理事会報告	3
・ 50周年記念事業中間報告	4
・ 50周年記念交流集会報告	
・ ふわくハイキングサークル	5
・ かがりび山の会	7
・ 岳人あびこ	8
・ 松戸山の会	9
・ 千葉アルパインクラブ	10
・ ちば山の会	11
・ 千葉こまくさハイキングクラブ	13
・ 雪上訓練案内	15
・ 植樹祭案内	16
・ 県連たより	17
・ 県連予定表	18

表 紙 説 明

千葉県連創立50周年記念交流集会集合写真です。
参加・協力有難うございました。

——編集者——

2017 年 1 月理事会報告

1. 日時 2017 年 1 月 19 日（木） 19 時～

2. 場所 船橋市西部公民館

3. 議事

(1)50 周年記念交流集会について（会長）

・参加者数 128 名（18 会）

大勢の参加ありがとうございました。千葉県連の底力を感じました。

ご協力をいただいた、県連理事・会代表者の皆さんに感謝します。

おかげさまで、楽しくて有意義であったとの感想を多数いただきました。

(2)委員会報告（各委員長）

①教遭委員会

・12 月 17 日 松戸山の会 奥多摩つづら岩 岩登り中の滑落事故

・外岩での事故が続いている。教遭委員会、救助隊がどう対応するか今後の課題。

・上記事故に関して松戸山の会からのコメント

3 回目のクライミングで慣れがあった。組織だった取り組みになっていなかった。

検討会を立ち上げる。

②ハイキング委員会

・第 33 回房総ロングハイク 参加予定者 48 人。

(3)組織数報告(会長)

千葉県連 766 名 昨年 778 名に対して 2 名減

大きく増えた会 松戸山の会 +10 名、千葉こまくさハイキングクラブ +9 名

大きく減じた会 船橋勤労者山の会 -12 名 かがりび山の会 -7 名

全国では大幅減になると思われる。

(4)全国評議会 2 月 18～19 日

評議員 1 名 参加をお願いします。

個人会員制の廃止が大きなテーマとなる

4. 連絡事項

(1) 50 周年記念誌の編集作業に参加・協力をお願いします。

問い合わせは、古瀬顧問までお願いします。

(2) 各会の総会の日程と場所が決まったら会長に連絡して下さい。

(3) NPO 法人「ちば労山ゆう」より

・植樹祭の参加応募状況報告

・植樹募金に協力をお願いします。

問い合わせは、佐藤理事までお願いします。

以上 鶴田 記

県連創立50周年記念事業中間報告

千葉県連・会長 広木 国昭

◆ 50年の概略と現状について

1967年に県内の5団体で「千葉県勤労者山岳連盟」（千葉県連盟）が結成された。

しかし、その活動は順調ではなかった。70年代には、当時の政治的世情を反映し、労働運動や民主的運動に対する企業の介入があった。千葉県においても、労山や労音・歌声などの民主的な活動に不当な干渉や攻撃があり、千葉県連にも大きな影響があった。特に企業内の登山愛好者に対して、退会の強要や参加に対する干渉があった事も報告されている。その影響から企業を中心とした山岳会は衰退し、地域の登山愛好者が参加した山岳会が結成されて千葉県連の中心となっている。

このような情勢の中、勤労者を中心にした広範な人々から、民主的な運動を求める声が大きくなった。その中でも、折からの登山ブームに後押しされて、全国的に多くの山岳会やハイキングクラブが活動を開始した。3人寄れば山の会などと言われた時代である。

県内では、千葉県連盟が登山愛好家を結集して意欲的な活動を実施した。労山の基本理念である、自然保護運動の分野では毎年実施している「クリーンハイク」を継続実施して、地道ではあるが大きな成果を残している。登山者の排出するゴミへの取り組みは、登山者の自然保護への意識を変え山からゴミを一掃する大きな力になっている。同時に、生産廃棄物の不法投棄や開発による自然破壊の阻止などに大きな成果をあげている。

一方では、講演会や技術講習会に意欲的に取り組んで来た。植村直己氏・今井道子氏・小西政継氏・白旗史郎氏・長谷川恒男氏などを招いての講演会には、労山会員のみならず県内から多くの参加もあった。

また、雪山や沢登り等の技術講習会やリーダー講習会などに、意欲的に取り組んで来た。当時の写真を見ると面影はありますが、役員や会員の皆さんは何よりも若い、その若さで意欲的に活動を展開して来た成果が、現在の19会766名の組織数で確認できる。（2016年11月末現在）

しかし、千葉県連は50年の歴史の重圧を感じていると同時に組織全体の風通しが悪くなっています。そして重要な事は、加盟会は会員の高齢化が会活動に大きな影響が出ている事です。同時に役員・県連理事の高齢化も深刻な状況です。これらの事は、県連役員の選出や委員会活動に大きな支障が出ています。

創立50周年を迎えた今、全会員の参加で県連組織の見直しを実施して、若年層が参加出来る組織運営を確立する事で、若い会員を迎えられる組織、次世代に託せる組織に再生する事が急務です。

全会・全会員の参加で、次の50年をめざす組織を構築する事が重要です。まず、参加者の皆様のご理解とご協力をおねがいします。

半世紀の節目・歴史的に残る集い 雪の舞う 50 周年交流集会・県連の底力を観る

ふわくハイキングサークル 副会長 原地 宏幸

極寒のキャンプ

当日は、今年最大の寒波が襲来する日と重なった。なぜ極寒に山で 50 周年を開催したのか事情はよく判らない。開会と同時に雪が舞う、赤々と燃えるキャンプファイアーに雪が舞い紅白の錦となり、50 周年を祝ってくれるかのような、願ってもない光景は、苦難を乗り越え発展させてきた半世紀の節目に相応しい歴史に残る交流集会でした。忘れられない思い出として残ることでしょう。

触れ合い求めて

当初参加者は 80 人程度とか、ふたを開けるとなんと 138 人もの県連を代表する山男・山女が集った。義理や組織動員で集ったとは思えない、雪が降ろうが、寒かろうが愚痴をこぼす人は見受けない、50 年の歴史を背負ってきた百戦錬磨のつわものどもの集まりだ。生死を共に・寝食を共にした深い絆で結ばれた仲間だ。互いにふれあい・ぬくもりを求めて集った仲間達だと推察しました。

二つの元気を戴く

清和県民の森の炊事場は、夕食の準備でゴった返していた。その中で際立っていたのは、スーパーの魚屋の店頭を思わせる景気の良い掛け声かける青年の姿や会場内を取り仕切るイケメンの関西なまりの青年の姿が私の目にとまった。高齢化の一途をたどる県連ですが、次世代担う若手人材として心を強くしました。

同時に 80 才を超える元気なシニアの皆さんのがんばりからもたつぷりと元気を頂いた次第です。

皆青春に逆戻り

今回集った仲間の平均年齢は 69 才だと言う、結成当時 50 年前は、集った皆が 20 代の青年・婦人の集団だったと思いを馳せました。当時の労音や歌声サークルで覚えたメロディーが交流会の中で流れると、ひときわ大きな合唱のるつぼと化しました。若かりし頃の自らの姿を重ね合わせて唄っていたことでしょう。

頭を振って合唱している姿は私の心をも奮い立たせ、仲間が青春に逆戻りした姿に感動しちゃいました。

私も青春しちゃった

交流会も宴たけなわ、私は指名されることもなく交流会の中央に登壇し、青春を思い出し当時の歌を当てもなくハーモニカで演奏し、コンダクターも務めていた。酔いも回り、私自身もすっかり青春してしまった。皆が熱唱してくれたことだけが脳裏に残る。翌朝何人かの仲間から、「ハーモニカの音色に酔いしれた・感動を有難う」の言葉を頂き嬉しかった。楚々がなかった様子で安堵しました。

仲間の努力に誇り

開会の中で「50年のあゆみ」と題して報告があり、幾多の苦難を乗り越えてきた魅力を伝えるロングハイク・郡界尾根歩きの実績報告があった。その中心的な役割を担ってきたのが「ふわく HC」であった事を思い起こし、「ふわく HC」に席を置く一人として仲間の献身的な努力に敬意し、ひそかに誇りを感じました。

広く県民に発信を

「千葉の自然は世界一・ここに住むことが出来なくなった時は地球上の人類が滅亡する時」と、県立中央博物館の中村博士はおっしゃる。そんな房総の自然を守り、房総の魅力を伝えてきた県連の活動を、マスコミを通して多くの県民に発信することが必要であり、今日、その社会的役割が求められているのではないのでしょうか。今からでも遅くない、健康寿命を延ばそうとする県民に「房総の山 50 選」の冊子の領布を願う。



舞台設営 (アルパインCの精鋭)



受付 (桑原御大)



雪中のオープニン



寒い時のお決まりポーズ



雪舞えば、火が恋し



君津ケルンの皆さん



南京玉すだれも飛び出した



懇親会・山の歌・・・???



お馴染みの支援物資の売店

原地さん有難うございました。昔の仲間無理なお願いをしたのではと心配でした。さすが、さすが！ 小湊鉄道の誇るエンターテイナー「ハーモニカおじさん」健在まだまだ、若いもんには負けてない、負けられないね、見習います。 (編集者)

県連創立50周年記念交流集会に参加して

かがりび山の会会長 川口光雄

この度は千葉県連創立50周年誠にとおめでとうございます。

当日のセレモニーにおいて実行委員長であり県連会長の広木國昭さんの挨拶を聞けば記念の諸行事は2年半も前から企画され順次準備されてきたとか、実施までには並々ならぬご苦労があったかと思われます。その気持ちに伝えるがごとくある会ではバスチャーターでの参加で協力の意気込みを感じました。1人だけ参加の会にも感動しました。我が会は会員28人ですがその内の6人参加させて頂きました。(初日は水仙が咲き誇る嵯峨山と2日目の解散後は濃溝の滝と三石山に行き1年前に一筆書きで歩いた道を思い出巡りの寄り道参加)・古瀬県連顧問の50年の歩み話の後海外登山・50選実行委員長であり東葛山の会会長の安彦秀夫さんから、50座全山登頂達成者に達成賞が贈られると発表されビックリボン！の喜びで有難く頂きました。11人の達成者の内 我が会では伊東氏と私が一筆書きでの全山完踏を達成しました。7クールで17日間 490キロ 70万歩余り歩きました。これは会の20周年記念として会全体で取り組みました。サポーターは交代で7クールを延べ62人参加。「チームかがりび」の結集で成しえました。(一筆書きの歩き方を示したという点で仲間はエポックメイキングであると感じてくれました) 本当に第2の故郷千葉の山に登るチャンスを与えて頂いた県連の皆さんに感謝します。

是非再訪座したいので新ガイドブックを楽しみにしています。



野田、山本尚、星野 山本久、伊東、川口



全山登頂達成賞 伊東春正、川口光雄

第2部では広木会長の進行でアコーディオンの小山龍雄さん、ハーモニカの桑原年一さん 原地宏幸さんの楽器のお蔭で参加者全員がリズムよく 飲んで食って歌い大変盛り上がりました。さらに宴会後は何人かで火を囲み歌って踊った光景も山家の姿で良かったと感じました。見上げれば昼間2度も降雪があった空が、神がかっている晴男？晴女！がいるのか夜空は満点の星空で“輝け県連！”と光っている様でした。50年の歴史を聞き次世代への一步を踏み出せ！とも・・・それと2日間にわたりワカメや昆布などを熱心に販売をされていた広木愛子さんお疲れ様でした。あなたの姿を見て参加者は心に響き、東北支援を続けたい気持ちになったと思います。

最後に お蔭様で大勢の方と交流でき生涯忘れえぬ有意義な時間を過ごさせて頂き大変有難うございました。会を代表して皆様にお礼申し上げます。(感謝)

千葉県連 50 周年記念交流集会に参加して

岳人あびこ 武内勇二

一連の千葉県連 50 周年記念行事を締めくくる交流集会に参加した。

10時半に会場の清和県民の森に到着、2時の受け付け開始にはまだ時間があるので、近くの大滝を散策後、関東ふれあいの道を香木原方面への山道に入った。小さなアップダウンを繰り返しながら樹間に行く。岩の痩せ尾根に急斜面、房総が隆起した痕跡がいたるところに見られる。陽だまりで弁当を食べ、清和県民の森に引返した。

受付を済ませ、割り当てられたキノコ型のバンガローNo.7に入った。見てくれは良いのだが、中に入るには梯子を登らなければならないので、出入りは不自由だ。「酔っ払いの年寄りには特に危険」と気を引き締める。

炊事棟のテーブルは、既に混み合っていた。「しまった、出遅れたか？」と反省しながら、屋外に設えてあるテーブルを炊事棟に持ち込んで食事の場所を確保した。何人かの労山仲間が力を貸してくれた。「有難うございました」。

食事の準備を始めた。最初は、16時からの交流集会セレモニーが終わるまでは、飲酒は控えようと我慢していたが、周りを見ると結構出来上がっているパーティもいる。外は雪が舞いだした。寒さに耐えきれず、熱燗でチビリチビリ、温めた酒もすぐ冷酒に変わった。

寒波到来と重なり、寒さの中での交流集会となった。セレモニーの後、キャンプファイアーサイトに移動、アコーディオンやハーモニカの伴奏に合わせ、誰はばかりことなく山の歌や童謡、民謡を歌った。

歌声喫茶で青春を過ごした世代の仲間たちが交流集会を盛り上げた。良くも悪くも、今の千葉県連はこの世代が活動の中心になっている。

今後の発展のためには、広木会長の言葉を待つまでもなく、世代交代の必要性を痛感した次第である。

交流集会を始め、これまで一連の記念行事を企画・実行にご尽力いただいた役員・理事の皆様、有難うございました。



千葉県勤労者山岳連盟 創立 50 周年記念交流集会に参加して

松戸山の会

(齊内 洋一朗記)

1月14日(土)～15日(日) 清和県民の森・ロッジ村

参加者：当会15名参加

プログラム：第一部 実行委員長挨拶…広木国昭 50年の歩み…古瀬健
みんなで登ろう「房総の山50選」完登表彰と海外登山…安彦秀夫
第二部 ・仲間と歌おう ・会の紹介とアトラクション

創立50周年を記念して、加入の山の会が集まる交流会が企画され、私も初めて参加しました。

会山行として6:30松戸出発-奥畑-八良塚-高宕山-奥畑のルートを歩き、14:00頃に会場に到着しました。会場は既に満員。皆さんは朝から来ていて、食べたり飲んだり歌ったり、大変な盛り上がりで圧倒された。アコーディオン奏者もいて、流れる曲も学生時代の歌声喫茶「灯火」そのものだった。参加者の多くがこの年代だろう。本当に楽しそうだ。

この雰囲気は、若い人はちょっと参加しにくいかもしれないと思うが、楽しんだ者勝ちかなと思う。初参加の私などは、松戸山の会以外の人には誰も知らないが、渡辺さんはじめ先輩の皆さんは、握手にハグにと久しぶりの再会を楽しんでおり、その知り合いが多いのにびっくりする。属する会は違うのに、長年の交流と山の仲間と言うことでこれほど親交が深まるのだろう。参加経験の無い私にもフレンドリーに話しかけて頂いて、楽しく話をする事が出来ました。

第一部で実行委員長の挨拶があり、続いて連盟の成り立ちや変遷についての説明があった。今まであまり意識していなかった県連ですが、役員の方のご苦勞や実際の活動内容などを肌で感じる事が出来ました。続いて「房総の山50選」完登表彰があり、松戸山の会から広川さんが11人の完登者を代表して表彰状を受け取られました。

二部に移りキャンプファイヤーの周りで会の紹介があり、松戸山の会も事前に練習しておいた山の会の歌と踊りを披露する事に。出番が来たので行ってみると、マイクを持って盛り上がっているおじさんが居ました。何と川上さんではありませんか。すっかり雰囲気にとけ込んで輪の中心でたのしんでおられました。

場所を、バンガローに移して2次会。みんなで多めに盛り上がり、ここには書けない話も数多く。広木会長にも来て頂き、色々話を伺う事が出来ました。

翌日は、桑原会長の案内で森の周辺の山を散策し、金谷の海鮮料理屋で昼食して帰宅の途に。千葉の山を楽しみ、県連の事を少し理解でき、山に行くみんなの結束の強さや仲の良さに触れた有意義な2日間でした。

県連の実行委員の皆さま、実行委員として運営された桑原会長、丸山さんお疲れさまでした。有難うございました。

千葉県連創立 50 周年おめでとうございます

そして創立 50 周年記念交流会、お疲れ様でした。

神山寿子(千葉アルパインクラブ)

昨年からの数々のイベント準備等、本当に大変だったと思います。

交流会に関しても下見、会場準備、広木会長はじめ役員の方々には、感謝！感謝です。我が会、千葉アルパインクラブの吉田&徳永もお祭り好きで、みなさんに喜んで頂けた事が私も少し自慢でした。

気仙沼焼そばと焼き鳥と豚汁は、前日から準備して頑張っていました。

私は途中からの参加でしたので、売れ行きにびっくりするとともに、みなさんの笑顔が見られて大変に嬉しい気持ちになりました。

君津ケルンさんから頂いた、芋もちとおでんも絶品でした。

私も千葉県連には 17 年と長くお世話にはなっています。最近では、事故防止・経験交流集会や春の雪上訓練等で、お会いして顔なじみになった方々が声をかけて下さるのがとても嬉しいです。

さて、お腹もいっぱいになった頃、キャンプファイヤーの準備です。

広木会長のご挨拶、古瀬さんの歴史あるお話、今の千葉県連があるのは、諸先輩方のご苦労のお陰なのだと改めて感じました。

その頃、お昼から降っていた雪が横殴りになって来ました。寒い！寒い！とだんだんキャンプファイヤーの火に集まって自然に輪が出来て、皆さんの大好きな山の歌です。歌声喫茶のアコーディオン奏者の方の演奏もあり、盛り上がりマックスです。

雪にも負けず元気いっぱいです。キャンプの火が消えたころ、宴もたけなわとなり、それぞれのバンガローに戻り就寝。

そして千葉アルパインクラブは、二次会突入！途中トイレに行くと、綺麗なオリオン座が眺められました。そして北極星を探して、星から方角の勉強会。そんな自然に入ってくる知識も、覚えていて為になるものです。

翌朝は、さすが岳人達！朝食準備も食事も後片付けもスムーズで、とても気分が良かったです。

今の私達がこんなに楽しく山登りが出来るのも、50 年間のご苦労あつての事だと思います。これからは、次世代に繋げていきたいと感じております。



創立 50 周年

千葉アルパインクラブの皆さん・ありがとう
下見から舞台づくり、焼き鳥・豚汁そしてB級
グルメ「気仙沼焼そば」は絶品でした。

アルパインクラブに、おんぶにだっこ でした。

雨が一番の心配でした。

でも、その時はアルパインクラブがいる。

何も心配する事はない、思いが通じて「雪・雪」

千葉県動労者山岳連盟

創立50周年記念交流集会 報告

50年の歴史に学び

次世代への一步を踏み出そう !

【会場】清和県民の森・ロッジ村

【日程と天気】2017年1月14日(土)・15日(日) 曇り時々雪(14日) ・ 晴れ(15日)



プログラム

◆ 第1部 14:00～15:00

実行委員長挨拶 広木 国昭(県連会長)
50年のあゆみ 古瀬 健(県連顧問)
みんなで登ろう「房旛の山50選」完登表彰
海外登山・50選実行委員長 安彦 秀夫(東葛山の会)

◆ 第2部 15:00～21:00

仲間と歌おう
会紹介とアトラクション

県連創立50周年記念事業中間報告

千葉県連・会長 広木 国昭

◆50年の概略と現状について (当日配布資料から)
別紙

◆ 記念事業中間報告

I、記念登山について

① サンライズトレッキング(安彦秀夫 記念山行実行委員長)

- ・バリ島、ユ 0 月 14 日～20 日 8 会・24 名の参加で、三山登山と観光を実施した。
- ・海外の山、参加者の山歴など、初めて顔を合わせる記念行事の難しい事を実感した。
- ・東葛山の会の皆さんが、事前に下見山行を実施してくれた。

② みんなで登ろう「房総の山・50 選」

- ・全会の参加で実施し、個人・会での完登を達成できた。
- ・山行報告を各会で分担して作成、編集作業を、安彦氏（東葛山の会）伊東氏（かがりび山の会）にお願いし完了。"
- 50 周年記念誌・ホームページに掲載作業中。

2. 自然保護セミナー

- ・1 月 14 日(土) 千葉市文化センターで実施。
17 会から 148 名が参加、鬼泪山を守る会・小櫃の水を守る会からの参加もあった。
- ・3 部構成の講演は、関連がありとても分かり易かったと好評である。
- ・「労山の自然保護の歩み」(鶴沢 ふわく HC 名誉会長)追原ダム建設反対運動から鬼泪山を守る運動の歴史に学び、後世に伝える取り組みとして実施。

3、創立 50 周年記念交流集会

- ・全会の参加で、創立 50 周年を喜び、次世代への第一歩を踏み出す記念集会と位置付けて取り組む。
- ・千葉県連創立 50 周年事業のファイナルとして、実行委員会を結成して取り組んで来た。
- ・1 月 14 日・15 日、清和県民の森で実施。
- ・参加状況・18 会 138 名の参加があった。

4、50 周年記念誌の発行。

- ・50 年のあゆみをまとめて、後世に伝えられる記念誌にする。
- ・2016 年 12 月中に発行予定だったが、作業が遅れ 2017 年 3 月末の完了予定。
- ・予算面で厳しいが CD で作成し、全会員で 50 周年を喜ぶためにも全会員に配布する。
- ・編集作業に会からの参加・協力をお願いします。

創立 50 周年を節目として、千葉県連が会員の期待と要求に応えられる組織として、発展するために各会の協力をお願いします。



山仲間と共に、歌あり、美味しいご飯あり、トークあり、冬のキャンプファイヤーあり?!
楽しい 2 日間でした。

報告者 堀田 武 (ちば山の会)

県連50周年記念集会 報告

千葉こまくさハイキングクラブ

こまくさハイキングクラブからの参加者は27名で多くの会員が参加してくれたのは、会長および総務部の協力が大きかったと感謝しています。

14日朝バス1台をチャーターして新検見川を出て、富山に行きとみやま水仙遊歩道散策グループと伊予ガ岳登山グループに分かれて行動しました。登山グループは天神社前にて準備体操後 開花した紅梅前で写真撮影後出発した。

南峰頂上下の急傾斜部をゆっくりと登ったら、先客がたむろしていたので休まずに北峰へのぼり展望を楽しんだ。富士は山頂が見えなかったが大島はよく見えて歓声が上がった。帰りは南峰下の岩場でロープにつかまりながら ゆっくりと下山。10時半に天神社へ下山したので昼食とした。昼食後バスで道の駅・富楽里にて水仙遊歩道散策グループを載せて 清和県民の森へ向かった。ロッジ村にてキノコ型のロッジに5人ずつ分散した。キャンプ場にて女性軍が活躍して、東京築地市場にて仕入した高級肉にて おいしいすき焼きパーティになりました。さすが女性はプロでいろいろの具が入ったすき焼きで大変好評でした。お腹が膨れてきたところに プロのアコーディオンとハーモニカによる伴奏つきの山の歌で盛り上がりました。こまくさからは 速成の炭坑節踊りで盛り上がりました。色々の才能を持った人が多いと感心しました。途中で雪が舞い 寒くてキャンプファイアの周りに人が集まりました。

燃やす木材が切れたので キノコ型のロッジへ逃げ込み寝袋に入ったが寒くて熟睡はできなかった。翌朝キャンプ地を整理して 国道410号線を走り 石堂寺へ向かった。石堂寺は重要文化財が多くあり 波の伊八による彫刻は素晴らしい。江見の魚屋食堂にて 新鮮な魚料理で昼食及び新年会になりました。

(記 こまくさ 三辻 勝)

日本列島を襲った今シーズン“最強寒波”は温暖なはずの房総半島にも雪を降らせ千葉県連創立50周年記念交流集会に参加した138名を震わせた。

50年前創立当時の“山や”が熱く語りあったであろう登山への思いは、時代の変遷と共に変化してきているのかもしれない。しかし忘れてはならない安全登山のための知識、技術の伝達を次の世代にSNSだけじゃない拡がり、繋がりを絶やすことなく継承する事の大切さと共に、難しさも考えさせられた2日間でした。

こまくさHC27名は交流集会に参加し、ミニハイキング、すき焼きパーティー、翌日は波の伊八の彫刻を見に石堂寺への初詣、新年会と盛り沢山の企画で大いに楽しみました。この季節のロッジ村での体験は災害被災者の苦労を実感するものでした。

なお、「年女」の私はあみだくじの大当たりで感想文を引き当てて一つ目の厄落としです。

(こまくさHC 喜多詰美津子)

今季最強の寒波が来ている時季のバンガロー泊りの山行、朝の寒さも厳しい。それでも気を引き締めてバスで出発。伊予ガ岳登山口より登山開始。

初めのんびりした道だが途中からロープ頼りの急登、「こんなはずでは」と思いながらも無事登頂。その後、県連交流会会場の清和県民の森に到着。到着が早かったので近くの展望台までおまけのミニハイクを実施。

それでも県連の行事が始まらないので成り行きで宴会開始。可なり出来上がった頃に県連行事開始。いろいろ表彰式等があった後、各会ごとに出し物を披露することになった。コーラスあり、手話コーラスあり、南京玉簾ありと続いた後、我がこまくさクラブは永井先生の特訓を受けた炭坑節の踊りを披露、他の会員の参加も含めて大いに盛り上がった。

二日目は案の定の厳寒の朝、皆さん昨夜は寒くて「眠れなかった」と言う中、当方はレスキューシートのお蔭でホッカホカの快適睡眠。朝食後早々に出発。重要文化財を多数有する石堂寺を訪ねる。住職の落語よりも面白い法話を聞いた後、境内を散策し昼食へと向かった。新鮮な刺身定食で腹を満たし帰路に就いた。

(記 佐藤隆毅)



千葉こまくさハイキングクラブ ご一同様

(写真提供 三辻 勝氏)

創立記念交流集会に参加いただき有難うございました。
おかげ様で無事終了する事が出来ました。参加者の皆様のご協力、
県連理事の皆さんに感謝申し上げます。
千葉県連の底力を心強く感じた二日間でした。
次世代にむかって、力強い第一歩を踏み出すことが出来ました。
ゆっくりでも、まわり道でも良い、歩みを止めずに行きたいと思います。
千葉県連 会長 広木 国昭

2017 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

昨年度は雪不足により中止となりましたが、今年度は改めて雪上技術講習に取り組みます。残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、県連救助隊を中心とし主要会に協力頂いて、下記の通り開催します。ので、各会よりの積極的な参加を望みます。

記

主催：県連教育遭難対策委員会

主管：県連救助隊

協力：ちば山の会 船橋勤労者山の会 千葉AC 山の会「岳樺クラブ」他

日時：4／8（土）現地集合7：30 開始8：00～13：00

実施内容：雪上技術訓練 初級及び中級

一般的な冬山登山でのロープワーク含む。

<4／9（日）>は各会で自由行動

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近 現地集合

参加費：1,000 円／人 各会毎に現地支払い。

交通／宿泊：各会毎に。 宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近又は土合山の家
(tel 0278-72-5522) 等。

尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。

参加会の事前打ち合せ：3／30（木）19：30～県連事務所

持参装備：雪山装備一式（アイゼン ピッケル ハーネス カラビナ スリン
グ ビーコン スコップ ゾンデ棒<プローブ>）

各会毎：ロープ1（9＊45 8＊30等）

申込み：3／19（日）までに。 別紙申込書にて遭対委員会 伊東へ。

<itou2385@yahoo.co.jp>

その他問い合わせ：遭対委員会 岡田へ ken-ichi@f4.dion.ne.jp

又は fax：043-271-4704。

ハイキングなど、軽い山行、慣れたコースなどでの、ちょっとした事故が増加しています。

ハイキングコースの岩場でチョとした、スリップ⇒転倒⇒滑落⇒死亡⇒重大事故は、本人は勿論、家族、友人、山仲間を悲しませ、大きな負担です。転ばぬ先の杖、最悪を想定して、準備万端、せっかくの機会です。

日頃、山行を共に楽しんでいる仲間と一緒に受講してはいかがでしょうか？。

谷川浜・桜植樹の集い

～ 桜植樹の集いのご案内と募金のお願い ～

主催：NPO 法人ちば労山ゆう

宮城県石巻市谷川浜・洞福寺における「桜植樹の集い」の詳細を下記のとおりお知らせします。

バスは千葉地区と東葛地区より2台出ます。宿泊は小湊浜の民宿となりますが、定員の都合上、「割烹民宿めぐろ」と「あたご荘」に分宿となります。どちらでも海の幸を御堪能できるかと思ひます。めぐろは震災時にボランティアの拠点となったところであり、あたご荘には鹿の食害を免れた房総の水仙が植えられています。

5日は東北人の信仰の拠り所であるみちのくの霊場・金華山の参拝も旅程に入っています。



植樹募金にご協力をお願いします

記念植樹の予算としておよそ30万円かかります。

植樹の他、石碑の建立も予定しています。みなさんの暖かなご支援をお願い致します。

一口1,000円 口数は自由です。

お振込先 口座番号：ゆうちょ銀行

00240-8-98419

加入者名：NPO 法人ちば労山ゆう

支援活動の足跡を、谷川浜に残しましょう。

日程：2017年3月4日（土）～5日（日）

参加費：20,000円（バス代、宿泊費）＊金華山往復の船代と5日の昼食は「ゆう」が負担します

募集定員：48名

＊旅程は交通の事情等により変更する場合があります。

3/4	JR 千葉駅 NTT 前 6:30 JR 松戸駅 市民劇場前 7:00 } ～牡鹿・谷川浜（植樹の集い開催） ～小湊浜 民宿・めぐろとあたご荘に分宿（泊） ☐ ☐ ☐ 夕 ＊19:30頃より割烹民宿めぐろにおいて、交流会を予定
3/5	鮎川浜＝臨時便ドリーム号往復＝金華山黄金神社参拝～帰葉（20時頃予定） ☐ 朝 ☐ 昼 ☐

☆ 問い合わせ先・申込先

・ 佐藤勝子（ふわくハイキングサークル）

tel/fax 043-306-5238 携帯 090-7631-4837 e-mail k-sato111@asahinet.jp

☆ 問い合わせ先

・ 広木 国昭（千葉県連会長）

・ 携帯 090-8316-2020 Eメール danpuhiro@zpost.plala.or.jp

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
常時入会出来ます。
・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動日のお知らせ
3月4日・5日 植樹祭
牡鹿半島・谷川浜
バス2台 48名

 - ◎ 支援物資販売活動について
・ 支援活動に参加する皆様の、
交通費などの補助・被災地の
復興支援に取り組んでいます。
ご協力をお願いします。
・ 三陸・気仙沼直送の支援物資は
「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」
「くきわかめ」「すき昆布」
「とろろこんぶ」です。
常時用意していますので連絡を
支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！
danphiro@zpost.plala.or.jp



県 連 活 動 予 定 表

3月		行事予定	2 月		行事予定
1	水		1	水	
2	木		2	木	
3	金		3	金	
4	土	ゆう植樹祭 谷川浜	4	土	
5	日	〃	5	日	
6	月		6	月	全国拡大三役会
7	火		7	火	県連役員会
8	水		8	水	
9	木		9	木	
10	金		10	金	
11	土		11	土	
12	日		12	日	
13	月		13	月	
14	火	役員会	14	火	
15	水		15	水	
16	木	理事会	16	木	県連理事会・全国理事会
17	金		17	金	
18	土		18	土	全国評議会
19	日		19	日	晴美グランドホテル
20	月		20	月	
21	火		21	火	
22	水		22	水	
23	木		23	木	
24	金		24	金	
25	土		25	土	代表者会議(臨時総会)
26	日		26	日	
27	月		27	月	
28	火		28	火	
29	水				
30	木				
31	金				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者： 広木 国昭

問い合わせ先： 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ